

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 35

衣川歴史ふれあい館 (衣川区日向)



①

①合戦の最中、敵対する安倍貞任と源義家が戦場を駆け回ったと伝えられる場面を再現



③



②

②衣川の歴史をひも解く土器類は、縄文時代中期の北館遺跡から発掘されたもの
③歴史的景観に配慮された外観。白壁に黒の屋根瓦が映える

南

北を分水嶺となる山地に囲まれた衣川は、その地勢的な特殊性から、安倍氏をはじめ古代から歴史の表舞台に登場してきました。市の南玄関に位置する衣川歴史ふれあい館は、この安倍氏から世界遺産を目指す平泉へとつながる歴史について紹介している資料館です。

施設は旧衣川村が整備し、平成7年4月に開館。大規模な土蔵を思わせるような重厚な外観と、内部には展示・資料室、研修室などを備えます。展示・資料室には、区内から出土した縄文土器から始まり、安倍氏・奥州藤原氏までの歴史がコンパクトにまとめられています。

展示資料に興味を引かれるのは、源義経と北の方の位牌（レプリカ）です。実物は雲際寺（同区張山）に安置されていました。が、昨年火災で焼失してしまいました。北の方は京から随行し

た頼然（らいねん）に同寺を中興させたとき、義経夫妻が衣河館で自害後、頼然がこの位牌を安置して弔ったものと伝えられています。安倍氏や藤原氏にまつわる史跡を巡る場合は、ぜひ同館を先に見学してみてください。現地を見ただけでは平泉とのかかわりがピンと来ないかもしれませんが、なぜ藤原清衡が平泉を本拠としたのか分かってくるはず。衣川荘との共通利用割引制度もあり、この時期、団体の研修（研修室の利用も可能）などには特にお勧めです。

◆開館時間 午前9時～午後4時

◆休館日 月曜日（祝日の場合は火曜日）、年末年始

◆入館料 一般350円、児童生徒200円

◆問い合わせ 衣川歴史ふれあい館 ☎3750へ



家族を守る、激震に耐える強い家

震度7に耐える丈夫な家が、あなたの家族と財産を守ります。

丈夫で長持ち

信頼の施工・品質



新築・リフォーム住宅に関するご相談はお気軽に。

パナソニック耐震住宅工法
テクノストラクチャー
全棟構造計算書付！

木造住宅の常識を超える「新工法」。

木の温もりと鉄骨の強さを併せ持つオリジナル複合梁と接合金具を使用し、邸別に構造計算を行うことで、いつまでも安全で安心できる家を提供いたします。

高惣建設株式会社

〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

お問合せ
ご相談は

☎0120-516-812
<http://www.takasou.net/>